



## 2021年6月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月12日

上場会社名 株式会社イデアインターナショナル  
 コード番号 3140 URL <http://www.idea-in.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森 正人

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営情報部長 (氏名) 松原 元成

TEL 03-5446-9505

四半期報告書提出予定日 2020年11月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年6月期第1四半期の連結業績(2020年7月1日～2020年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期第1四半期	3,839	0.0	274	380.9	247	464.3	155	1,726.3
2020年6月期第1四半期	3,842	14.4	57	50.0	43	206.7	8	44.0

(注) 包括利益 2021年6月期第1四半期 147百万円 (812.3%) 2020年6月期第1四半期 16百万円 (33.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年6月期第1四半期	10.82	
2020年6月期第1四半期	0.59	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年6月期第1四半期	9,809	4,393	44.7
2020年6月期	9,907	4,302	43.4

(参考) 自己資本 2021年6月期第1四半期 4,393百万円 2020年6月期 4,302百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年6月期		0.00		4.00	4.00
2021年6月期					
2021年6月期(予想)		0.00		4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年6月期の連結業績予想(2020年7月1日～2021年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,700	2.8	500	33.0	255	50.7	105	44.6	7.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年6月期1Q	14,717,350 株	2020年6月期	14,717,350 株
期末自己株式数	2021年6月期1Q	374,715 株	2020年6月期	374,715 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年6月期1Q	14,342,635 株	2020年6月期1Q	14,342,635 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、2020年11月12日に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

2021年6月期第1四半期連結累計期間(2020年7月1日～2020年9月30日)におきましては、年初から続く新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により、わが国経済は個人消費の落ち込みや企業活動の停滞により大きな打撃を受け、GO TO キャンペーン等経済活動再開へ動き出すも、依然として厳しい状況にあります。

このような状況のなか、当グループの売上高につきましては、卸販売、直営店舗販売、Eコマース販売の3つの販路を展開するリスク分散戦略が功を奏しました。コロナ禍において直営店舗の売上が前年同期に比べて大きく減少するものの、Eコマース販売が「巣籠り需要」を取り込むことで売上を大幅に拡大し、直営店舗の売上減少分を補いました。

インテリア商品ブランド「ブルーノ」は、キッチン家電が「巣籠り需要」の追い風を受け、主力商品コンパクトホットプレートの累計販売台数が200万台を突破するなど引き続き好調に推移し、ホットサンドメーカーもSNSの効果等により売上を大きく伸ばしました。また「ふとんドライヤー」「フロア加湿器」等のインテリア家電も売上を伸ばし、企画商品「世界のキッチンシリーズ」の展開も売上に大きく貢献いたしました。また「ブルーノ」の海外販売は、香港・台湾向けへの販売は引き続き好調に推移し、2020年9月から北米で販売を開始、2日間でコンパクトホットプレートを1,500台販売するなど新たな市場として期待することができるようになりました。これらの結果として「ブルーノ」の売上高は前年同期比143%と大きく伸ばいたしました。

トラベル商品ブランド「ミレスト」は、新型コロナウイルス感染拡大による旅行需要が急激に落ち込み、GO TO キャンペーン開始により徐々に旅行需要が回復しつつも、直営店舗や卸売先店舗でのトラベル関連商品の販売は依然として鈍く、また空港内直営店舗の長期休業の影響もあり、「ミレスト」ブランド開設10周年記念の販売促進などで売上の回復を図ったものの、売上高は前年同期比43%となりました。

これらの結果として、当グループの第1四半期連結累計期間の売上高は、3,839百万円(前年同期は3,842百万円)となりました。

利益につきましては、粗利率の高い自社商品ブランド「ブルーノ」の売上が前年同期比143%と拡大したこと、また営業利益率の高いEコマース販売の売上高が前年同期比191%と拡大したこと、本社従業員のテレワーク勤務を4月より強力に推進し、テレワーク勤務率70%を実現したことにより固定費を削減したことなどから、営業利益は274百万円(前年同期は57百万円)となりました。また経常利益は、新型コロナウイルス感染拡大による店舗休業関連費用の増加などがあったものの247百万円(前年同期は43百万円)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、155百万円(前年同期は8百万円)となりました。

セグメントの業績は以下の通りであります。

住関連ライフスタイル商品製造卸売事業は、当社卸販売におきまして、新型コロナウイルス感染拡大の影響により店舗を有する得意先への売上が減少いたしました。Eコマース販売を主とする得意先への売上が拡大したことから、当社卸販売の売上高は前年同期比113%と拡大いたしました。また子会社のシカタ社におきまして、新型コロナウイルス感染拡大が影響し、バッグのOEM販売、オリジナルブランドの売上が減少したことから、シカタ社の売上高は前年同期比83%となりました。結果として売上高は2,288百万円(前年同期は2,299百万円)、営業利益は376百万円(前年同期は247百万円)となりました。

住関連ライフスタイル商品小売事業は、Eコマースにおきまして、コロナ禍における「巣籠り需要」が引き続き伸びているなか、当社のホットプレートやホットサンドメーカーがインスタグラム等のSNSやテレビ番組で人気商品として紹介され、「ブルーノ」のブランド認知度が高まった結果、販売サイトでのブランド指名率の向上等によって購入率が向上し、Eコマースの売上高は前年同期比191%となりました。また、直営店舗におきまして、トラベル店舗がトラベル需要の回復の遅れにより苦戦したものの、自社キッチン家電商品を中心とする「ブルーノ」店舗が好調に推移し、また新たに9月に2店舗新規出店いたしました。結果として、売上高は1,546百万円(前年同期は1,531百万円)、営業利益は156百万円(前年同期は59百万円)となりました。

デザイン事業においては、売上高は5百万円(前年同期は11百万円)、営業利益は5百万円(前年同期は11百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

流動資産は、7,883百万円（前連結会計年度末は7,947百万円）となり、63百万円減少しました。これは商品及び製品の増加（500百万円）等があったものの、借入金の返済等による現預金の減少（165百万円）および売掛債権の減少（315百万円）があったことによるものであります。

固定資産は、1,925百万円（前連結会計年度末は1,959百万円）となり、34百万円減少しました。これは店舗の新規出店による有形固定資産の増加（12百万円）があったものの、無形固定資産の減少（21百万円）、投資その他の資産の減少（25百万円）があったことによるものであります。

流動負債は、3,962百万円（前連結会計年度末は4,461百万円）となり、499百万円減少しました。これは短期借入金の減少（467百万円）および未払法人税等の減少（39百万円）等があったことによるものであります。

固定負債は、1,453百万円（前連結会計年度末は1,143百万円）となり、310百万円増加しました。これは長期借入金の増加（310百万円）等があったことによるものであります。

純資産は、4,393百万円（前連結会計年度末は4,302百万円）となり、90百万円増加しました。これは利益剰余金の増加（97百万円）等があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2020年8月11日の決算短信で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,637	2,471
受取手形及び売掛金	2,051	1,735
商品及び製品	2,216	2,716
その他	1,052	970
貸倒引当金	△10	△9
流動資産合計	7,947	7,883
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	322	340
土地	290	290
その他（純額）	162	157
有形固定資産合計	774	787
無形固定資産		
のれん	556	539
その他	92	89
無形固定資産合計	649	628
投資その他の資産		
投資その他の資産	553	527
貸倒引当金	△17	△17
投資その他の資産合計	535	509
固定資産合計	1,959	1,925
繰延資産	0	—
資産合計	9,907	9,809
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	999	777
短期借入金	2,102	1,634
1年内返済予定の長期借入金	545	544
引当金	77	53
その他	737	950
流動負債合計	4,461	3,962
固定負債		
長期借入金	919	1,230
退職給付に係る負債	160	164
その他	62	59
固定負債合計	1,143	1,453
負債合計	5,604	5,415

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,509	1,509
資本剰余金	1,818	1,818
利益剰余金	1,049	1,147
自己株式	△82	△82
株主資本合計	4,295	4,393
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	9	4
為替換算調整勘定	△1	△4
その他の包括利益累計額合計	7	0
純資産合計	4,302	4,393
負債純資産合計	9,907	9,809

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年7月1日 至2019年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年7月1日 至2020年9月30日)
売上高	3,842	3,839
売上原価	2,356	2,172
売上総利益	1,486	1,667
返品調整引当金戻入額	13	8
返品調整引当金繰入額	15	7
差引売上総利益	1,484	1,667
販売費及び一般管理費	1,427	1,392
営業利益	57	274
営業外収益		
為替差益	2	—
その他	2	4
営業外収益合計	4	4
営業外費用		
支払利息	7	10
その他	11	21
営業外費用合計	18	32
経常利益	43	247
特別損失		
固定資産除却損	3	0
工場閉鎖損失	9	—
リコール損失	0	0
特別損失合計	12	0
税金等調整前四半期純利益	31	246
法人税、住民税及び事業税	7	51
法人税等調整額	15	39
法人税等合計	22	91
四半期純利益	8	155
親会社株主に帰属する四半期純利益	8	155



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	8	155
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	7	△4
為替換算調整勘定	△0	△2
その他の包括利益合計	7	△7
四半期包括利益	16	147
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16	147

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)

該当事項はありません。